

数直線と正の向き、負の向き、絶対値

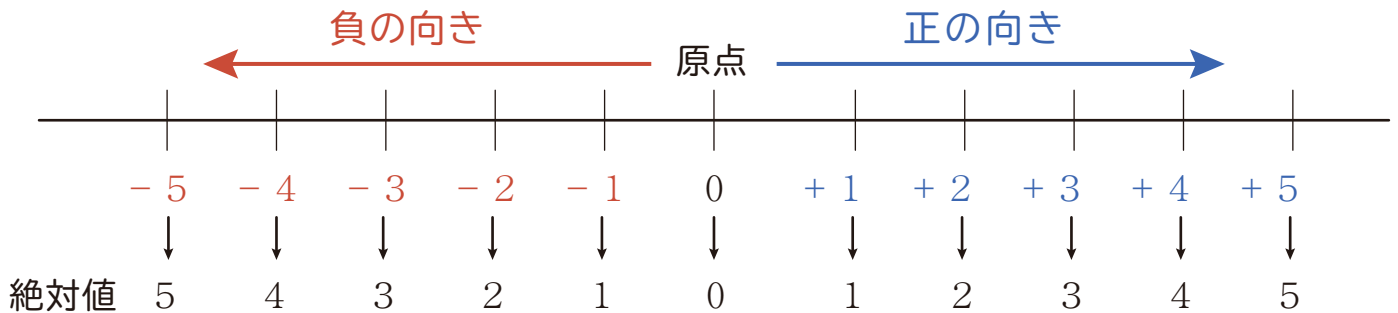
すうちよくせん

数直線で0に対応する点は、原点という。

原点から正の数への向きを、**正の向き**という。

原点から負の数への向きを、**負の向き**という。

数直線上で、原点(0)から、ある点までの距離を**絶対値**という。



数の大小と不等号

数の**大小**は**不等号**で表すことができる。

$$-3 < +2$$

$$-4 > -7$$

$$-8 < -2 < +6$$

1 次の数の絶対値をいいなさい。

① +2

② -6

③ -3

④ +9

⑤ +1.5

⑥ -7.2

⑦ $+\frac{1}{3}$

⑧ $-\frac{1}{4}$

2 にあてはまる不等号を入れなさい。

① -5 $+3$

② -8 -4

③ $+2$ $+4$

④ -30 -40

⑤ $+1.5$ -1.3

⑥ -3.4 -3.34

⑦ $-\frac{1}{4}$ $-\frac{1}{3}$

⑧ $-\frac{1}{5}$ $+\frac{1}{6}$

数直線と正の向き、負の向き、絶対値

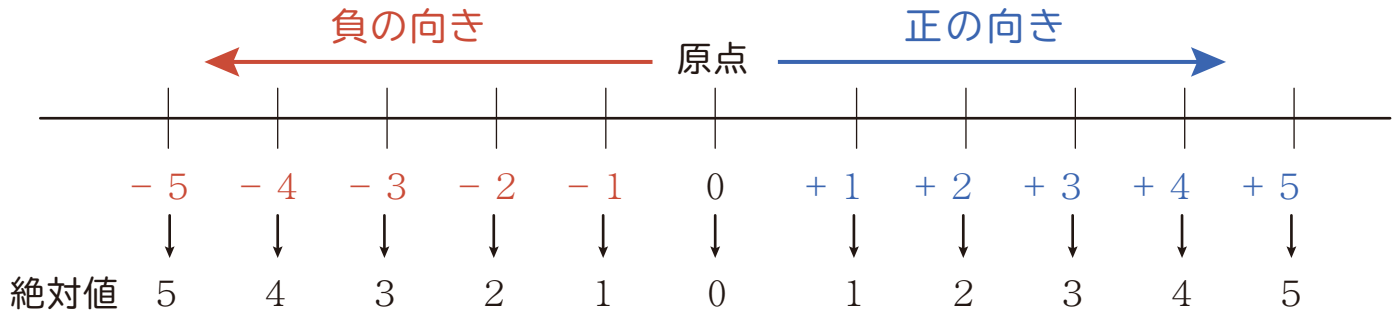
すうちよくせん

数直線で0に対応する点は、原点という。

原点から正の数への向きを、正の向きという。

原点から負の数への向きを、負の向きという。

数直線上で、原点(0)から、ある点までの距離を絶対値ぜったいちという。



数の大小と不等号

数の大小は不等号ふとうごうで表すことができる。

$$-3 < +2$$

$$-4 > -7$$

$$-8 < -2 < +6$$

1 次の数の絶対値をいいなさい。

① $+2$ 2

② -6 6

③ -3 3

④ $+9$ 9

⑤ $+1.5$ 1.5

⑥ -7.2 7.2

⑦ $+\frac{1}{3}$ $\frac{1}{3}$

⑧ $-\frac{1}{4}$ $\frac{1}{4}$

2 にあてはまる不等号を入れなさい。

① -5 $+3$

② -8 -4

③ $+2$ $+4$

④ -30 -40

⑤ $+1.5$ -1.3

⑥ -3.4 -3.34

⑦ $-\frac{1}{4}$ $-\frac{1}{3}$

⑧ $-\frac{1}{5}$ $+\frac{1}{6}$